

長野県埋蔵文化財ニュース

No. 27

1989.3.30

(財)長野県埋蔵文化財センター

長野調査事務所
〒388 長野市篠ノ井布施高田字佃963-4
TEL 0262-93-5926



ほうろく屋敷遺跡配石群

明科町ほうろく屋敷遺跡の調査

松本平の水を集めた犀川は、明科町の町並みをすぎた所から丘陵地帯に入り、蛇行しながら善光寺にむかう。犀川の左右に狭いながらも段丘が発達している。ほうろく遺跡は、明科町北端のこうした左岸段丘上の、南陸郷小泉にある。標高510～515m、犀川との比高差は約10mである。日当りの良い、東北向きのゆるやかな傾斜地に残された縄文～中世の複合遺跡である。「ほうろく屋敷」の名前の示すとおり、多量の土器の出土した場所であつたらしく、昭和20年代の開田時には、大形石棒や三角壺形土製品が出土している。

発掘調査は、ほ場整備事業に伴い、7月27日から3月24日まで8か月にわたっておこなわれ、約10,000㎡

明科町教育委員会 大 沢 哲

を発掘し、縄文中期～後期の住居跡や配石墓群、弥生前期の再葬墓群、平安時代の住居跡などの遺構と、テンバコ300箱余の多量の遺物が発見された。

配石墓群 遺跡のほぼ中央部の周囲との比高1～2mの3,000㎡ほどの凹地に、数百基が重複し築かれており、配石の中からは、土偶や小型土器、小型磨製石斧装飾品や玉類がかなり出土しており、配石墓上面での祭祀の存在を思わせる。この配石墓群をとり囲むように周辺部に縄文中期の住居跡が35軒検出されている。配石墓群の中にも炉らしき石組みも若干見られたが、遺構が川原砂に近い砂質土中にあるため明確な遺構として検出できなかった。

弥生期の再葬墓群 配石墓群中にあり、4群に分かれ、いずれも配石を上面に持つ。配石は、30cmほどの礫を径1~2mの円形に並べ中に小砂利をつめたもの、小砂利のみのもの、礫だけのものの3タイプが見られ、配石の下に土坑に土器が埋設されていた。土坑の底に小砂利を敷きつめたもの、石棺状に土器に石囲いのあるものも見られ、副葬品として黒曜石の剥片を土坑の底部や土器の底に並べたものもあった。

土器はほとんどが、東海地方の条痕文系の壺形土器(水神平式)であり、15個体を数える。しかし、縄文晩期の網状浮線文土器や住居跡等の遺構は検出されていない。

い。詳細は、今後の整理の結果を待ちたい。

以上が今年度の調査の概要であるが、土質が遺構の検出に困難な砂であったため、多くは今後の整理次第となろう。なお、中央道工事により発掘された北村遺跡は、本遺跡の南約10kmの距離にあり、同時期の配石墓のあり方に若干差異が認められるようであり、比較検討が可能となれば、墓制について貴重な資料が提供できることとなろう。

本遺跡の発掘は今年度も継続して行われることになっており、ほぼ遺跡の全範囲が調査可能であり、集落の全体が復元できるものと期待している。

石川条里遺跡の珪藻 (その1)

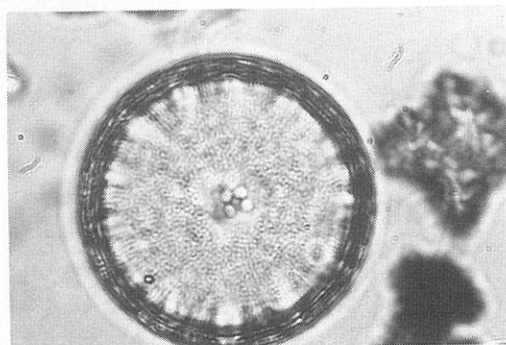
私たちが発掘調査をしている石川条里遺跡は、地形的には所謂後背湿地といわれる場所で、周辺の遺跡環境から、古代から豊かな生産量をあげていた水田地帯があったと推定されているところです。

縄文前期の住居跡や古墳~平安時代に至る水田跡、その他に古代人の生活の跡を示す生活域の分布が次第に明らかにされて来ています。

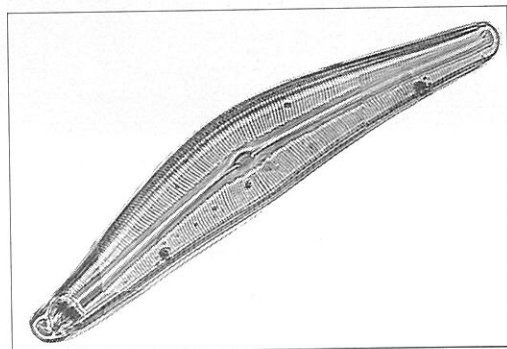
埋没遺跡からの出土したいろんな遺物が明らかになってきますと、必然的に遺跡の置かれていたところの環境がどうであったかが、問題になってきます。つまり、古環境復元は、石川条里遺跡の研究にとってはさけて通れない大事なことなのです。それを明らかにする手段として、私たちは、次の三つの方法をおもなことで考えています。土層観察による地形形成と、花粉分析や、珪藻分析等による方法です。

土層観察は、現場での相互検討を重視して実施しています。花粉分析は、樹種、種子鑑定と同様に、外部の調査研究機関に依頼しております。また、珪藻分析は、「センターのあるべき姿の一つである」という職員の間で共通理解によって、冬期間、係仕事の一つとして実施いたしました。

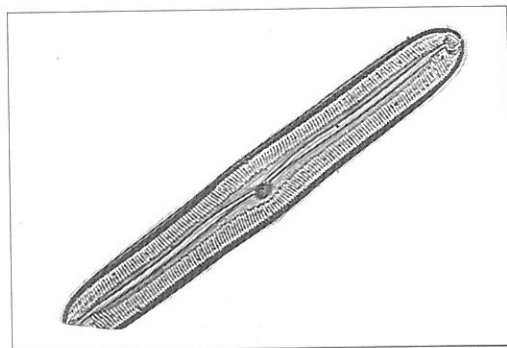
サンプルを調整し、プレパラートを作り調べますと、土層の層序によって相違点が判明してきます。例えば、平安水田面のサンプルからは、珪藻化石がたくさん見えますが、ほとんどがこまかく粉碎されていて満足にそろった形のものが見えなかったり、それより下の土層からは、珪藻化石が大変よい状態で保存されていたり、あるいは今迄見られなかった種類の化石が出現したり、種類によって出現率の違いのあることにも気づ



Cyclotella sp. (300X)



Cymbella lanceolata Ehr. (300X)



Pinnularia gentilis (300X)

No.	Species Name	塩分濃度	PH	流水	汚水	生育場所
5	<i>Amphora ovalis</i>	貧塩—不定	好アルカリ	不定—好止水	貧腐水	着生
13	<i>Cymbella aspera</i>	貧塩—不定	好アルカリ	不 定	貧腐水	着生
20	<i>Eunotia pectinalis</i>	貧塩—嫌塩	不定—好酸性	好止水	貧腐水	着生
46	<i>Neidium iridis</i>	貧塩—嫌塩	不 定	真止水	貧腐水	?

<表 1>

かされます。

これらのことから、その土層が乾田であったり、湿地・湿原であったり、陸上であったりしたことがわかります。以上のことは、ほんの一例にすぎませんが、

いろんな環境状態がわかってきます。

珪藻は、塩素イオン量、水素イオン濃度（PH）、止水域・流水域または水域の広さや水深のちがいなどの化学的・物理的要因の差によって、生息する種群が異なっていることが知られています。

出現した珪藻種の生態は表1のようにまとめます。

なお、種の同定は100×10の倍率で、メニカルステージを用いて横の線にそって移動させながらおこなっています。

珪藻化石群集組成解析は、私たちににとってはいくつかの困難がありますが、先生方のご教示をいただきながら慎重に追究をして、与えられた使命をはたしたいと思っています。（越川 長治）

（財）長野県埋蔵文化財センター 発掘調査報告書3・5・10の刊行

中央道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書3、塩尻市内その2—吉田川西遺跡— A4横組、2分冊779頁

吉田川西遺跡は松本平の南限、田川周辺に濃密に分布する遺跡群のひとつ。昭和59年度発掘調査以後整理、検出遺構は8～12世紀代の竪穴住居跡266、掘立柱建物跡8、墳墓ほかに、中近世の建物、柵、井戸、火葬墓など多方面にわたる。出土遺物は多量の平安時代の土器類に加えて、多量の灰釉・緑釉および輸入陶磁器類が出土したことで注目された。とくに緑釉陶器は三足盤、合子、水注、双耳瓶、耳辺などが、また輸入陶磁器は定窯などの白磁類など12世紀代のもの380点と多く、東日本でも例の少ない内容をもつ。その他、筆の穂先、佐波理椀、金銅製鈴などの金属製品や墨書土器も数多い。平安時代後期を中心とした在地領主層と深いかわりのある遺跡であろう。報告書はできるだけ出土資料の資料化につとめ、コンパクト化を考慮して作成、資料の分析を通して、律令体制における古代村落の解体と中世的秩序化へのあり方などに焦点をあてた編集・資料提示に心がけた。

中央道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書5（松本市内その2）A4横組、1冊285頁、同報告書（松本市内その7、豊科町内）1冊260頁

松本市内・豊科町内12遺跡が松本平低位沖積地帯の共通空間地域に立地し、また遺跡間の所属時期幅が小さいことから、これらを一連のものとして総括的にとらえることを編集の基本として、全7冊中の2冊を刊

行した。5では笹賀地区の神戸・上二子・中二子遺跡を、10では島内地区の南中・北中・北方、豊科町内の上手木戸遺跡を集録した。2書ともに古代から中世の居住域、墓域、生産域資料が提示してある。

長野県埋蔵文化財センター紀要2 の 発 刊

「紀要1」（縄文中期特集）に続き、下記の内容で「紀要2」を発刊。B4版、横組90頁

縄文土器の大きさ（2）

—深鉢形土器の定量とそのタイプ 黒岩 隆
長野県における古墳時代前期の地域的動向

宇賀神誠司

長野県の9世紀後半から12世紀の食膳具の様相

原 明芳

報告書作成に係る遺物撮影について 岡沢 重紀
研究ノート

長野県内の諸磯b式土器

—新資料の整理と編年の検討 百瀬 新治

研究ノート

北信濃における縄文中期後半土器群の概観

綿田 弘実

報告書・紀要とも頒布については長野県考古学会が取扱っています。

〒386 上田市染谷2117 川上元方

TEL 0268-24-4936

なお、年報5（1988年版）も発刊しました。昨年度当センターで発掘調査を実施した各遺跡の概要及び事業報告等がおもな内容です。

昭 和 63 年 度 市 町 村 別

No.	遺 跡 名	所 在 地	期 間	目 的 因	主体者	担 当 者
1	志 平	岡谷市川岸東二丁目9886-4	63. 4.18 63. 5. 8	住 宅	市教委	会田 進
2	榎 垣 外	岡谷市長地字上の原2803-2	63. 5.27 63. 6. 8	"	"	"
3	反 目	駒ヶ根市東伊那2288, 2289 他	63. 5.20 63. 8.31	農 業 関 連	"	友野 良一 気賀沢 進
4	生 仁	更埴市大字雨宮大生仁1490-4	63. 5.31 63.12. 8	"	"	佐藤 信之
5	高 野	飯田市山本字久米	63. 5.16 63. 7.16	"	"	小林 正春
6	千 鹿 頭 社	諏訪市大字豊田3962-1	63. 5.17 63. 6.30	住 宅	"	宮坂 光昭
7	八 幡 下	飯田市八幡町2033-2	64. 1. 5 元. 1.21	その他の建物 (公 会 堂)	"	小林 正春
8	矢 嶋 城 跡	北佐久郡浅科村大字矢島字城平635	63. 7.21 63. 8.10	学 術 研 究	村教委	上代 純一
9	西	下伊那郡下条村陸沢8967-1,2	63. 6. 1 63. 6.30	その他の建物 (集 会 所)	"	今村 善興
10	佐 野	下高井郡山ノ内町大字佐野字谷地614-2	63. 6. 1 63. 7. 1	道 路	町教委	永峰 光一
11	恒 川	飯田市座光寺1614-1	63. 7.11 63. 7.30	その他の建物 (店 舗)	市教委	小林 正春
12	新 町 大 原	上伊那郡辰野町大字伊那富4447 他	63. 9.28 63.11.19	農 業 関 連	町教委	友野 良一
13	小 泉	飯山市大字常盤字長峰越1-1 他	63. 7.13 63.12.10	工 業 団 地	市教委	高橋 桂
14	清 水 田	岡谷市長地中村小字中村4303-1 他	63. 9.28 63.10.22	住 宅	"	会田 進
15	殿 村	駒ヶ根市東伊那926-1 他	63.10. 7 63.11.22	農 業 関 連	"	友野 良一 気賀沢 進
16	七瀬3号古墳	中野市大字七瀬字前山1254-1	63. 7.26 63. 9.28	住 宅	"	金井 汲次
17	安 源 寺	中野市大字安源寺572	63. 9. 8 63. 9.27	防火貯水槽	"	"
18	普 濟 寺	上伊那郡箕輪町大字東箕輪3634-2	63.10. 4 63.10.20	その他の開発 (テニスコート)	町教委	柴登 己夫
19	姥 ヶ 原	諏訪郡原村姥ヶ原10801 他	63.10.21 63.11.22	工 場	村教委	平出 一成
20	小 海 戸	大町市大字常盤2683	63.11. 7 63.12. 5	農 業 関 連	市教委	篠崎健一郎
21	三 獄 西	塩尻市大字中西条283-1	63. 9.27 63.10.21	"	"	小林 康男
22	蒜 田	飯田市桐林2472	63.12. 1 64. 1. 7	道 路	"	小林 正春
23	山 寺	茅野市豊平1813-2 他	63.10.20 63.10.31	"	"	鵜飼 幸雄
24	百 姓 地	諏訪市双葉ヶ丘6286-1	63.10.13 63.10.22	範 囲 確 認	"	宮坂 光明
25	田 中 沖	長野市篠ノ井西寺尾稲里町田牧	63.11.17 63.12.28	農 業 関 連	"	矢口 忠良
26	南 方	松本市大字入山辺	63.11.25 元. 1.27	"	"	神沢昌二郎
27	篠ノ井遺跡群	長野市篠ノ井塩崎山崎	元. 1.30 元. 3. 4	道 路	"	矢口 忠良

発掘調査一覧 (その2)

時代	調査の概要	主な遺物	要見
弥	縄文住居1、小竪穴8、弥生住居1	石鏃11、凹石2、打斧31、石匙4、土器・石器片6箱	
平	平安住居跡2	刀子4、墨書土器3、土師器15、砥石1、土器片3箱	墨書土器(「+」)1住居から出土
縄、奈、平	竪穴住居 縄49、弥17、古〜平71、柱穴3、土坑60	縄文55、灰釉10、弥生22、土師75、陶磁2、石器17箱	弥生湿地帯に近く、台地中央から端部に縄文集落形成
弥〜中	住居 弥〜平70、中世溝1、中世井戸20	土器(弥〜平)60、木製品2	弥生住居より人骨出土
縄、中	住居3、掘立柱建物4、土坑21、溝7	縄文3、弥生3、古墳3	平安初期の製鉄工房跡
縄、弥、奈平	住居等縄4、弥3不明2	土器1箱、石器1箱	
古	円墳(径10m)横穴式石室	切子玉1、白玉13、管玉1、金銅環1、他	
中	生活面及び建築遺構	整理検討中	
平、近	——	片口1、撚鉢1など江戸陶器片10、他	
縄	集石土坑	縄文土器片700、石鏃10、石斧1、人骨片少量	中心部は開田、住宅建設で攪乱
弥、奈、平中	住居27、小竪穴3掘立柱建物2、溝1	土師、須恵器片51箱	1辺12mの石敷住居(奈良)、推定伊那郡街跡
縄、平、中	縄文住居15、縄文土坑30、平安掘立柱建物10	縄文土師器片30箱、石器1箱、土偶1	縄文中期初頭が中心
旧石、縄、弥、中	弥生住居26、掘立柱建物25、土坑10	弥生土器・石器60箱、石製品200、流水紋様炭化物1	弥生時代集落環境復元
縄、古	縄文住居5、小竪穴3平安住居2	縄文土器3、石鏃3、弥生土器1、打斧4、他	住居床面上に「+」の刻書土器出土
奈、平	住居 縄文19、弥生3平安17、方形周溝墓1小竪穴、他	縄文30、弥生2、土師17、灰釉1、石器11各箱、鉄器10	上伊那の縄文前期の好資料、小竪穴縄文早期末
古	粘土床1、周溝あり	弥生1、土師50、玉類410、鉄鏃2、紡鐘車1、櫛7、他	
旧〜近	住居弥生1	弥生4箱、鉄鏃1、石斧4	
縄	縄文土坑34、中世土坑墓4	土器片5箱、石器30	
縄	——	土器片159、石鏃1、凹石4、剥片10	住居及び集石遺構の埋没、保存良好
縄、中、近	縄文住居1、土坑7	土器30、中世陶磁器21、中世土器1	——
縄、平、中	住居 縄文7、平安7	土器片6箱、凹石2、石鏃6、砥石1、石斧4	——
古	方墳1、溝2、墳丘墓1、土坑1	土師、須恵、金属1箱	方形であり横穴式石室が確認されず尾根の先端に占めていることから伊那谷最古の古墳の可能性高い。
平、中	掘立柱建物8、溝8井戸2、土坑7 他	錫杖頭部1、ガラス玉1、石臼片5、古銭3、陶器片20、他	掘立柱建物は納屋と思われるもの5基、住宅と思うもの2基
縄、平	配石遺構1土器片集中1	縄文土器片2箱、石器類1箱	——
古、平	住居 平安42古墳3	土器片20箱、鉄鎌1丁	——
縄、平、中	——	縄文3箱、古銭7枚、石器1箱、陶器1箱、鉄器7片	——
縄、弥、古奈、平	弥生住居3古墳住居3奈良・平安住居6 他	縄文土器1袋、奈・平土器3箱、弥生土器1箱	円面硯出土

長野県内調査報告書紹介(7)

- ◇松本市島立条里的遺構—県道改良工事に伴う緊急発掘調査報告書 松本市教委(1988・3)(91+35)〈古墳～平安時代集落跡の調査、壁ぎわ石列をもつ堅穴〉
- ◇松本市島内遺跡群 北方遺跡Ⅱ・北中遺跡—県営ほ場整備に伴う緊急発掘調査報告書 松本市教委(1988・3)(118+41)〈平安～中世集落跡、大甕埋設遺構、輸入磁器、「大井」の刻書土器〉
- ◇松本市島立三の宮遺跡—県営ほ場整備に伴う緊急発掘調査報告書 松本市教委(1988・3)(134+40)〈弥生～古墳・平安集落、中・近世遺構、埋葬馬、铸造仏〉
- ◇松本市林山腰遺跡—県営ほ場整備に伴う緊急発掘調査報告書 松本市教委(1988・3)(75+19)〈縄文中・後期遺物、柄鏡形敷石住居、平安住居跡〉
- ◇松本市向畑遺跡1—県道改良工事に伴う緊急発掘調査報告書 松本市教委(1988・3)(142+20)〈縄文中期土坑、古墳時代前期住居跡、中世墳墓〉
- ◇松本市宮の下遺跡—県営ほ場整備に伴う緊急発掘調査報告書 松本市教委(1988・3)(19+5)〈中・近世土坑〉
- ◇三間沢川左岸遺跡(1) 平安時代集落跡の緊急発掘調査概報 松本市教委(1988・10)(10)〈多量の緑釉陶器と長良私印、佐波理鏡、八棱鏡、富寿神宝、鈐帯と掘立柱建物跡群で注目〉
- ◇鑄師屋遺跡群十二遺跡—長野県北佐久郡御代田町十二遺跡発掘調査報告書 御代田町教委(1988・3)(423+221)〈奈良・平安時代集落跡、塩野牧あるいは長倉駅推定地として注目される。掘立柱建物75、堅穴住居71〉
- ◇薊沢・薦石—長野県佐久市野沢薊沢・岩村田薦石遺跡発掘調査報告書 佐久市教委・佐久市埋文センター(1988・3)(67+14)〈弥生・平安時代集落、弥生土器棺墓〉
- ◇中原—長野県小諸市中原遺跡発掘調査報告書 小諸市教委(1988・3)(50+12)〈古墳時代後期集落跡〉
- ◇神沢遺跡・田多井古城下遺跡・そり表遺跡 掘金村教委(1988・3)(35+10)〈縄文中・後期土器、平安時代集落〉
- ◇山ノ神遺跡—長野県塩尻市山ノ神遺跡発掘調査報告書 塩尻市教委(1988・3)(21+6)〈縄文中期ピット群〉
- ◇和手遺跡—塩尻市市道と手北線道路新設改良工事埋

- 蔵文化財包蔵地発掘調査報告書 塩尻市教委(1988・3)(35+10)〈弥生・平安時代集落、方形周溝墓〉
- ◇竹ノ花遺跡—塩尻市北熊井南地区土地改良事業共同施行発掘調査報告書 塩尻市教委(1988・3)(42+11)〈縄文中期土器、北熊井城跡〉
- ◇一般国道20号(塩尻バイパス)改築工事埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書 塩尻市教委(1988・3)(583+229)〈押型文土器をだす大形住居で著名な光陽台遺跡を含む7遺跡の報告書、縄文～平安時代の好資料収録、とくに押型文・中越式土器など〉
- ◇浅川扇状地遺跡群浅川端遺跡 長野市教委・長野市埋文センター(1988・3)(81+24)〈縄文前期中道式、弥生中期、古墳及び平安時代住居跡及び遺物〉
- ◇地附山古墳群—上池ノ平1～5号古墳緊急発掘調査報告書 長野市教委・長野市遺跡調査会(1988・3)(59+29)〈箱式石棺・合掌形石室をもつ5世紀後半の土積墳、TK47型式の須恵器〉
- ◇黒部遺跡—長野県上高井郡高山村黒部遺跡発掘調査報告書 長野地方事務所・高山村教委(1988・3)(48+18)〈押型文土器・茅山式土器〉
- ◇長野県飯山市釜淵・北顔戸遺跡 飯山市教委(1988・3)(68+35)〈中世集落跡、木簡、木製品〉
- ◇田中洞—田中洞遺跡発掘調査報告書(縄文前期の遺構と土器) 王滝村教委(1988・3)(63+18)〈神ノ木式諸磯式及び関西系土器及び住居跡〉
- ◇長野県大町市埋蔵文化財包蔵地緊急発掘調査報告書 来見原遺跡Ⅱ 大町市教委(1988・3)(119+54)〈弥生～中世集落跡、中期前半の弥生土器〉
- ◇唐渡宮—八ヶ岳南麓における曽利文化期の遺跡群発掘報告 富士見町教委(1988・9)(327+76)〈昭和49年～52年調査された坂上、向原、唐渡宮、居平各遺跡の報告書。井戸尻遺跡群の西方にある縄文中期を中心とした一大遺跡群であり、検出された集落跡及び遺物群の詳細な分析がなされている。〉
- ◇樋口五反田遺跡—昭和62年度緊急地方道整備事業(与地辰野線上伊那郡辰野町下田)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 辰野町教委(1988・3)(40+11)〈押型文及び茅山式土器包含層と弥生後期住居跡1軒の調査〉
- ◇鑄師屋遺跡群 鑄師屋遺跡群Ⅱ—長野県佐久市小田井鑄師屋遺跡Ⅱ発掘調査報告書 佐久市教委(1988・3)(151+53)〈御代田町前田、十二、小諸市鑄物師屋遺跡に隣接、奈良～中世集落跡。尚、「イモジヤ」の表記法が地区により異なっている点注意〉

長野県埋蔵文化財センター人事異動

○退任

理事長 村山 正 (11月25日)

○新任

技術参与 佐藤 今雄 (11月21日)

理事長 樋口 太郎 (11月26日)

(財)長野県埋蔵文化財センター日記抄(10月～3月)

63.10.4 下茂内遺跡信濃毎日新聞取材(佐)

5 長野県遺跡調査指導委員会(於事務局)

7 下茂内遺跡NBS取材(佐)

8 枇杷坂、中久保田遺跡調査開始(佐)

11 3事務所センター構想係会議(於事務局)

12 文化課との打ち合せ(石川条里遺跡等)
(長)、森嶋稔理事下茂内遺跡等につき指導
(佐)13 文化財に関する施設建設基本構想懇話会(副
理事長出席)、西赤座遺跡調査開始(佐)、
戸沢充則明治大学教授水田跡調査等につき
指導(長)14 戸沢充則明治大学教授下茂内遺跡等につき
指導(佐)、腰巻遺跡調査開始(佐)

16 栗毛坂遺跡現地説明会(佐)

18 光谷拓美奈文研主任研究官石川条里遺跡視
察(長)21 石川条里遺跡につき公団との打ち合わせ
(公団・センター)(長)25 調整会議(公団・篠ノ井農協・長野高速道・
センター)(長)27 全国埋文協関東ブロック会議3名出席(於
前橋市)、埼玉・群馬・新潟・長野四県会議
4名出席(於新潟)28 長野県史中世集落研究会(松)、丸山遺跡調
査終了(佐)、千葉県文化財センター岡沢調
査部長補佐石川条里遺跡視察(長)

11.1 文化課との打ち合わせ(石川条里)(長)

2 栗原文蔵埼玉県立歴史資料館副館長来所
(佐)4 松代農協両組織会議(松代農協・公団・長
野高速・文化課・センター)(長)7 勅使河原彰明治大学講師来所(佐)、工楽善通
奈文研集落遺跡研究室長招へい石川条里遺
跡指導(～8)、石川条里遺跡NHK取材(長)

8 平野吾郎静岡県考古学研究所調査課長他1

名、石川条里遺跡視察、石川条里遺跡S B
C取材(長)10 関プロ埋文行政担当者会議1名出席(於栃
木)、各務原市教委渡辺博人学芸主事招へい
指導(～11日)(松)11 石川条里遺跡につき公団との調整会議、石
川条里遺跡朝日新聞取材(長)

12 織笠昭東海大学講師来所(佐)

14 東京都教育委員会宮崎博氏来所、中久保田
遺跡調査終了(佐)15 吹付遺跡調査終了(佐)、長野市南部プロッ
ク1学年会担当職員1行(20名)石川条里
遺跡見学(長)

16 道路公団中野工事事務所開所式出席(局長)

17 大室古墳群保存会一行(16名)石川条里遺
跡見学(長)

21 下茂内遺跡現地説明会(佐)

22 長野市議会高速道対策委員会一行(20名)
石川条里遺跡見学(長)

23 県考古学会(旧石器部会)会長外来所(佐)

24 山梨文化財研究所河西学氏来所(佐)

28 県教委高校教育課石川条里遺跡視察(長)

29 石川条里遺跡打ち合わせ(公団・文化課・
センター)(長)30 枇杷坂遺跡調査終了(佐)、中央道長野線埋
蔵文化財発掘調査報告書3(塩尻市内その
2)入札(松)12.1 西大久保遺跡調査終了、下茂内遺跡現地協
議(文化課・公団・センター)(佐)2 センター幹部会(於長野市)、栗毛坂遺跡調
査終了(佐)、宮本長二郎奈文研建造物室長
招へい指導(～3日)(松)

5 西赤座遺跡調査終了(佐)

6 望月高校吉沢壮夫氏来所(佐)

9 飯田市教委小林正春氏外1名石川条里視察
(長)10 群馬県埋文センター平野進一調査課長、同
石塚久則主任研究官、更埴市教委矢島宏雄、
佐藤信之氏石川条里遺跡視察(長)、腰巻遺
跡調査終了(佐)、斉藤孝正名古屋大学助手
招へい指導(松)

12 飯山南高校高橋桂氏石川条里遺跡視察(長)

13 森嶋稔理事石川条里遺跡視察(長)

14 斉藤豊信州大学助教授、県史刊行会伊原今
朝男・宮下健司氏石川条里遺跡視察(長)

15 高速道事務所所長会議一行(20名)石川条

- 里遺跡見学（長）
- 63.12.21 文化課雁塚遺跡試掘立ちあい（長）、中央道
長野埋蔵文化財発掘調査報告書5（松本市
市内その2）、10（松本市市内その7、豊科町
内）入札（松）
- 22 県土木建設協会一行（50名）石川条里遺
跡見学（長）、文化課鳥林遺跡試掘立ちあい
（長）
- 23 石川条里遺跡調査終了（長）
- 26 文化財関係資料庁内研究会（笹沢調査部長出
席）、石川条里遺跡信濃毎日新聞取材（長）
- 27 飯山南高校高橋桂、飯山市教委望月静雄氏
来所（佐）
- 64.1.4 榎原考古学研究所関川尚功氏来所（長）
- 5 石川条里遺跡毎日新聞取材（長）
- 元.1.12 調査打ち合わせ会議（文化課・公団・セン
ター）（佐）（於東京）
- 13 野尻湖博物館中村由克氏来所（佐）
- 19 文化課試掘調査（松代インター）立ちあい
（～20日）（長）
- 23 石川条里遺跡（聖川～JR篠ノ井線周辺部）
補充調査（～27日）（長）北村遺跡出土人骨
委託調査中間報告会、戸沢克則明治大学教
授外3名、茂原信生独協医科大学講師外1
名、赤沢威東京大学助教授招へい指導（～
24）（松）、文化課試掘調査（若穂地区）立
ちあい（～27）（長）
- 26 下茂内遺跡調査終了（佐）
- 27 岩崎卓也筑波大学教授来所、斉藤豊信州大
学助教授石川条里遺跡現地指導（長）
- 31 宮本長二郎奈文研建造物室長石川条里出土
木材について招へい指導（長）、泉森蛟榎原
考古学研究所調査課長来所（松）
- 2.2 長野県遺跡調査指導委員会（於長野市）、高
速道事務所課長会議一行（20名）来所（長）
- 3 文化財に関する施設建設基本構想懇話会
（副理事長出席）（於長野市）石井進東京大
学教授招へい指導（～4日）（松）
- 7 文化課試掘（松代地区）立ちあい（～10日）
（長）、森山公一氏来所（佐）
- 8 奈良県香芝町教委佐藤良二氏外来所（佐）
- 13 鶴前遺跡現地協議（中電・文化課・センタ
ー）（長）
- 15 職員同和研修会（長）
- 17 センター幹部会（於長野市）
- 18 石川条里遺跡等出土品展示会（於塩崎小学
校）、NBS外取材（長）
- 20 岩崎卓也筑波大学教授招へい指導（長）
- 21 姉妹校制度による学校現場研修、更級農業
高校（長）、塩尻市広丘小（松）
- 22 労働安全衛生講習会（長）、信濃毎日新聞展
示会取材（佐）
- 23 佐久新聞展示会取材（佐）
- 27 学校現場研修、篠ノ井西・通明小（長）、調
査部長会議（於事務局）
- 28 三所センター構想係会（於事務局）
- 3.1 光谷拓実奈文研主任研究官招へい指導（～
2日）（長）
- 2 平成元年度調査打ち合わせ会議（文化課・
公団・センター）（於東京）
- 3 平成元年度調査打ち合わせ会議（公団・長
野高速道・文化課・センター）（長）
- 9 センター幹部会議（於長野市）
- 10 平成元年度調査調整会議（公団・高速道局・
長野高速道・文化課・センター）（長）
- 13 鳥取県埋文センター田中精夫氏外来所（～
14日）（長）
- 14 斉藤豊信州大学助教授招へい指導（長）
- 16 文化課との打ち合わせ（長）
- 17 若穂・松代地区調査打ち合わせ会議（南長
野・若穂農協高速対策委員会・長野市土木
部・公団・長野高速・文化課・センター）（長）
- 20 更埴市西部地区埋文調査打ち合わせ会議（更
埴市西部農協・公団・センター）若穂地区埋
文調査打ち合わせ会議（若穂農協・市土木
部・公団・長野高速道・文化課・センター）、
坂北地区埋文調査打ち合わせ会議（公団豊
科工事事務所・筑北高速道・文化課・セン
ター）（長）
- 24 新任者研修打ち合わせ会議（於事務局）
- 25 若穂地区埋文調査打ち合わせ会議（若穂農協・
市土木部・公団・長野高速・文化課・センター）
- 27 塩崎地区埋文調査打ち合わせ会（公団・業
者・センター）（長）
- 28 更埴西部地区地元代表説明会（更埴西部農
協・公団・センター）松代地区地元代表説
明会（南長野農協・市土木部・公団・長野
高速・文化課・センター）（長）
- 29 理事会（於長野市）
- 30 坂北地区調査打ち合わせ会議（坂北村・文
化課・センター）（長）
- 31 川田地区代表者説明会（若穂農協・長野高
速・文化課・センター）（長）中央道長野線
埋蔵文化財発掘調査報告書3・5・10刊行（松）